

共生・協働の地域社会づくり

曾於市

NPO法人

《問い合わせ》☎099(86)7(6)5999

◎NPOどんぐり谷自然塾

大人も子どもたちと一緒に感動を！

曾於市末吉町に、となりのトトロが大きく描かれた手作りの施設「どんぐり谷遊房」がある。秋には、周りにどんぐりがたくさん落ちてくる。これが名前の由来となった。どんぐり谷遊房では自然と人との関わりを学び、自然との共存を実感できる。そこに拠点を置くのがNPO法人「NPOどんぐり谷自然塾」だ。

「地域貢献をすることが高校生の頃から夢でした」と語るのは大森貢理事長。高校を卒業してから県外へ就職し、そこでボーイスカウトや子ども会、自然環境保全の活動を行ってきた。これらの活動を通してネイチャーゲームインストラクターやキャンプディレクター、環境カウンセラーといったさまざまな資格を得て、青少年を取り巻く問題や、環境問題について関わるようになってきた。

昨年6月、「次世代を担う子どもたち



▲子どもたちが手作りしたピオトープにはホタルがあらわれる

に、現代社会の抱える環境破壊の状況や自然への理解を深めてもらいたい」と、NPO法人を立ち上げた。法人は曾於市を中心に、ネイチャーゲーム協会やボランティア協議会のメンバーで構成され、その輪は大崎町や志布志市、県境を越えて宮崎県都城市まで広がっている。頻繁に会員が集い、役割分担し、それぞれ充実した活動を行っている。「子どもは大人にない視点を持っていますから、子どもからたくさん学ぶことができますね。だからやめられないんです」と語るのは理事の篠原さん。

必要だと思えます」と語る。敷地内には、杉林をはじめ竹林やピオトープ、竹炭釜が整備され、地域住民に開放されている。竹炭クラブのお年寄りたちが、早朝から竹炭作りに励み、ここで技術を学んだ人たちが地域に帰ってその技術を広めるなど、地域の交流を図っている。また、平成19年度は、森林環境税を活かした県の公募事業「竹取物語」を実施。小学生から大人までを対象に森林や竹林のおかれている現状について学習したり、竹材を活かした製作活動をしたりと、活発な事業を展開した。どんどんスリム化していく行政をどのようにサポートしていくかが、今後の課題だ。大森理事長は「子どもたちには、ふるさと歴史やすばらしさを学んで将来に活かしてほしい」と語る。

子どもたちの感動と大人の感動をのせた「ねこバス」は、今日も未来に向かって走り続ける。



▲親子で作った手作りブランコ



大森理事長(右から2人目)と会員のみなさん

親子で一緒に楽しみましょう!
私たちも楽しんでいます。



▲竹炭クラブによる竹炭づくりの様子。煙で状態を見極める。

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進室(県庁市町村課内) ☎099(286)2241

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) ☎099(221)6605

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。